

看護専門科目	臨床応用専門科目					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	後期	3年次
科目名	精神看護学実践論Ⅲ（治療過程での看護）					
担当教員	◎岡本響子 高橋里沙 國井由加利					
目的	治療上の問題を抱えている対象の、その人となりを生生活上の文脈において理解し、看護の展開ができる。					
目標	① ICFについて理解する ② 入院治療と看護の展開について理解する ③ アンダーウッドモデルにもとづく看護の展開ができる					
他科目との関連	心理学 臨床心理学 社会福祉原論 精神看護学実践論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 精神看護学実習Ⅰ・Ⅱ 障がい論					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	総合的評価として筆記試験を行う				0.5
	レポート	看護過程を理解するためのレポート				0.3
	記録等	感想ノート他				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	精神看護学② メヂカルフレンド社					
参考資料	田中美恵子：精神看護学―学生 - 患者のストーリーで綴る実習展開第2版，医歯薬出版，2015 ドロセア・E・オレム：オレム看護論―看護実践における基本概念，医学書院，2005					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	配布した資料を忘れずに持参すること					